

こどものまちすいしんじぎょう

## こどものまち推進事業

・・・約500万円

こどもたちが夢にむかって元気にたくましく育つ環境をつくり、こどもたちの主体的な活動をまち全体で応援するため、沖縄こどもの国を拠点にした、こどものまち関連施策を展開します。

おきなわこどものくにしせつせいびじぎょう

## 沖縄こどもの国施設整備事業

・・・約4億円

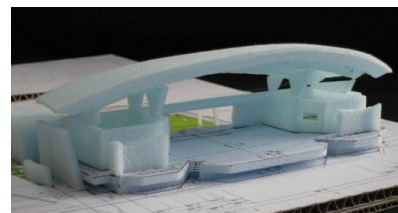
沖縄こどもの国公園がこどもたちの知恵や感性、想像力を育む場となり、また大人にとっても心安らぐ憩いの場となり地域の発展につながる公園を目指します。平成25年度は琉球弧動物展示施設および野外ステージの整備を行います。

＜琉球弧動物展示施設＞

沖縄に昔から生息する動物の展示をし、身近な動物の生態を学ぶことができます。在来動物の維持・繁殖につながり、文化の継承をおこないます。

＜野外ステージ＞

老朽化したステージを、より使いやすいステージに建替えることで、イベント時の効率的な運営を推進するとともに、日常的に活用できるように整備をおこないます。



こくさいじどう・せいしょうねんえんげきふえすていはるおきなわ  
すいしんじぎょう

## 国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ推進事業・・・約9,000万円

こどもたちの為の演劇フェスティバルとして、世界の優れた演劇を沖縄市に一同に集めた「国際児童・青少年演劇フェスティバル（キジムナーフェスタ）」を開催しています。

毎年夏休みの時期に合わせ、約9日間の日程で、世界各国から選りすぐりの素晴らしいステージが、市民会館を中心に繰り広げられます。その他にもセミナーやシンポジウム、ワークショップ等、毎年多彩なプログラムが盛りだくさんのイベントです。

### キジムナーフェスタ



こんにちはあかちゃんじぎょう

## こんにちは赤ちゃん事業

・・・約1,100万円

育児の不安が高くなる生後4カ月未満の乳児を持つ子育て家庭に対して、家庭訪問を実施し、親子の心身の状況や養育環境の確認とアドバイスを行うことで、乳幼児がいる家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的としています。

こどもいりょうひじょせいじぎょう

## こども医療費助成事業

・・・約2億8,000万円

この制度は、こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

4歳児までの入院・通院と、5歳児から中学生までの入院が対象となっています。

にんかがいほいくしせつじどうえんごひほじょきん

## 認可外保育施設児童援護費補助金

・・・約1,900万円

沖縄県では、復帰前の米軍統治下時代に認可保育所の整備が遅れたため、働く親の保育の担い手として多くの認可外保育施設が設置されました。しかしながら、未だに認可保育所の数が足りないため、認可保育所を希望しても入所できずに認可外保育施設へ通っている児童がいます。

そのため、認可外保育施設に入所している児童の保育環境の向上を図るために、児童一人当たり予算の範囲内（平成24年度は1人当たり11,000円/年）で補助を行っています。

むろかわようちえんえんしゃしんぞうかいちくじぎょう

## 室川幼稚園園舎新增改築事業

・・・約2,900万円

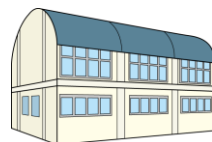
室川幼稚園の園舎は、昭和51年に建設されてとても古くなっていることから、平成25年度に設計等を行い、平成26年度から建替えのための建設工事を行う予定です。



なかのまちしょうがっこうしんぞうかいちくじぎょう

## 中の町小学校新增改築事業

・・・約9,200万円



中の町小学校の体育館・校舎は昭和43年から昭和56年にかけて建設され、とても古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所となっていることから、子どもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建替えられることになりました。

- ・平成25年度：学校の設計
- ・平成26年～27年：建設工事

新しい校舎は平成28年4月からスタートを予定しています。

みさとしょうがっこうしんぞうかいちくじぎょう

## 美里小学校新增改築事業

・・・約11億700万円

美里小学校校舎は昭和39～56年に建設され、とても古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するため建て替えられることになりました。

平成25年度末には完成し、平成26年4月から新しい学校のスタートを予定しています。



だいさんちょうりじょうかいちくじぎょう

## 第3調理場改築事業

・・・約7億5,900万円

現在の第3調理場は建設されて30年が経過し、施設は古く狭いため、建て替えの工事をし平成25年度中には完成予定です。新たな調理場は、現在より2,000食増えて6,000食まで対応することができ、アレルギー専用の調理室が設置されます。近代的・効率的・衛生的な給食施設に生まれ変わります。

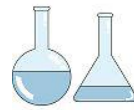
こどもかがくりょくいくせいじぎょう

## こども科学力育成事業

・・・約3,800万円

こどもたちの理科ばなれが大きな問題となっています。

そこで「驚きと発見」をキーワードに沖縄こどもの国でワークショップや科学実験イベント、学校に出向いての講座等を行い、児童生徒が自ら理科の楽しさを体験できるような取り組みを進めています。

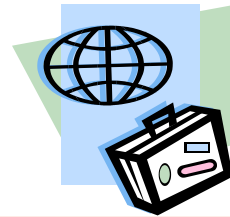


ちゅうがくせいかがいたんきほーむすていはけんじぎょう

## 中学生海外短期ホームステイ派遣事業

・・・約1,200万円

国際化が進むなか、将来を担う人材を育てるため、各中学校からの推薦による生徒を、外国の文化に触れて体験できる機会を創出するため、海外短期ホームステイにかかる費用の助成を行い、生徒の語学学習への意欲を高めることにより、将来活躍できる人材を育てることを目指しています。



とくべつしえんきょういくじぎょう

## 特別支援教育事業・・・約7,000万円

障がいのある子一人一人が必要とする学校の授業で分からないことなどをサポートするため、教育介助者（ヘルパー）と教育補助者を配置し、障がいのある子に対する教育の充実を目指しています。

ほうかごこどもきょうしつすいしんじぎょう

## 放課後子ども教室推進事業

・・・約1,100万円

こどもたちに安全・安心な居場所を作る目的で、放課後に小学校の余裕教室や地域連携室などを使い、地域の人達が、こどもたちの宿題や本読みを手伝ってあげたり、あるいは三線を教えたり、色々な体験活動の場を提供する事業です。市内の小学校16校で実施しています。



がっこうしえんちいきほんぶじぎょう

## 学校支援地域本部事業

・・・約2,800万円



こどもたちを学校だけでなく地域全体で育むために、市内全小中学校に学校支援地域本部を設置し、学校と地域の学校支援ボランティア（地域人材）を結ぶコーディネーターを配置して、学校・こどもたちを支援する事業です。こどもたちは地域の方々と触れ合うことでいろいろな知識が身に付き、先生方はボランティアのおかげでこどもたちと触れ合う時間を多く持てる。地域の方々（ボランティア）にとっては、自分の学んだこと、持っている知識・経験等を発揮できる事業です。

としじどうけんぜんいくせいじぎょう

## 都市児童健全育成事業

…約1億3,000万円

小学生が、放課後の時間を安心・安全に過ごせるよう、適切な遊びや生活の場を確保するための事業です。

放課後児童クラブ（学童クラブ）へ運営費を補助し、助言・指導等を通して質の向上を図ったり、公民館等を活用して様々な遊びを提供する出前児童館を実施しています。

